

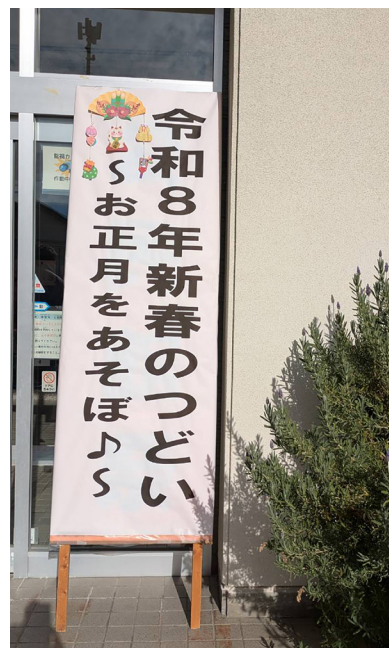
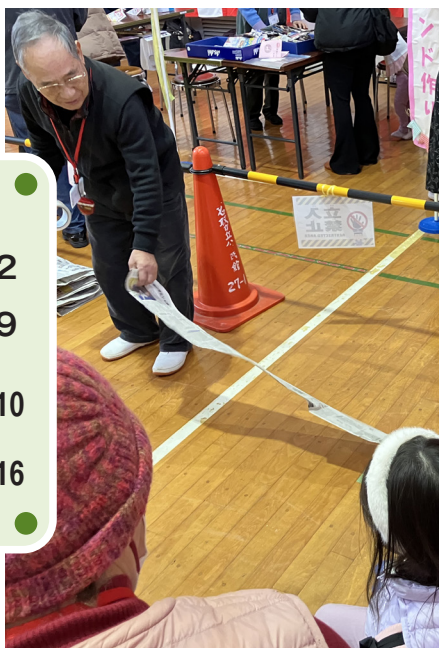
なとり市議会だより

2026.5.1 No.194 令和8年2月定例会の内容をわかりやすくお伝えします。



CONTENTS

- 議員が聞いたこんなこと……………P2
- 税金の使い道をチェックしました……………P9
- 図書館がイオンモール内の書店と連携してイベントを開催します……………P10
- N-WATCH(名取が丘地区老人クラブ連合会)……P16



議員が聞いた

こんなこと

一般質問

一般質問とは

皆さんの生活に関わる大切な内容について市議会議員が市に対して質問を行います。
2月定例会では、11人の議員から21項目の質問がありました。

一般質問を含めた本会議の内容は、録画でも配信しています。名取市議会映像配信ホームページの「録画中継」から検索するか、スマートフォンやタブレット端末で2次元コードを読み取り御覧ください。



児童数が減少している 高館小学校の単式学級維持を



板橋 美保



AQ 現状と将来の見通しは。
複式学級とは、2つの学年の児童数を合算した数が16名以下、第一学年を含む場合は8名以下となった場合に、1つの学級として編制されるものを指す。高館小学校の児童数推移予測によると、複式学級編制基準に達する見込みは、令和9年度から1学級、令和12年度から2学級となる見通しである。

AQ 単式学級を維持すべき。
単式学級を維持するには、県に対し、複式学級解消加配を要望すること、通学区域外からの就学を認める小規模特認校制度の検討を進めること等が考えられる。単式学級を維持することだけでなく、複式学級になった場合でも、その良さを生かした教育をいかに展開できるかが重要だと考える。

AQ 複式学級の教育への影響は。
教員が2つの学年を交互に指導するため、一学年当たりの直接指導時間が限られる。また、同学年の児童数が少ないため、多様な考えに触れる機会、集団での切磋琢磨が生まれにくいという側面がある。一方で、少人数ゆえに児童一人一人の発言機会が多く、きめ細やかな指導が可能である。

また、日常的に異学年交流が行われ、下の学年をサポートする「教え合い」が自然発生しやすく、主体性や思いやりの心が育まれやすい環境である。

- 質問した内容
- 1 高齢者及び難聴児を対象とする、補聴器購入費助成制度の拡充
 - 2 高館小学校の児童数減少に伴う、複式学級への懸念と単式学級の維持



福祉現場と有償ボランティアをつないで負担軽減を



阿部 正義



Q 介護事業者の人材不足の現状と今後の見通しは。

A 令和7年度に人材不足を理由として、居宅介護支援事業所1か所と看護小規模多機能型居宅介護事業所1か所が休止し、訪問看護事業所2か所が廃止した。市内の介護事業所も介護人材の確保には苦慮しており、今後この状況が続くと捉えている。

Q 国では福祉・介護人材確保対策の推進に予算が充てられるが、活用の考えは。

A 効果的に活用するために、介護現場のニーズの把握が必要と考える。

アンケート調査等を通じて、現場が抱える課題や地域人材の活用に対する意識を把握し、他自治体の活用事例なども参考に調査研究したい。

Q 地域の有償ボランティアをインターネットなどでマッチングサービス「スケットター」事業を活用し、福祉現場の負担軽減に取り組むべき。

A 先進自治体における課題への対応や事業効果等を参考に調査研究したい。

Q スケッターは障がい者やひきこもりの方等の就労ステップに活用される事例もある。本市でも活用すべき。

A 本人にとって負担なく、最も効果のある支援を見極めながら、その方に合ったものを選択し、支援者と共に取り組むことが重要である。この事業に取り組む場合、当事者及び支援者の意見なども踏まえ、検討する必要がある。

質問した内容
1 地域包括ケアシステムの深化・推進



自然に親しむ名所をつくるべき



郷内 良治



Q 本市は海や山、平野部、文化資源等を有しており、それらを生かした名所をつくるべきと考えるがどうか。

A 海浜部ではサイクルスポーツセンターや、かわまちてらす閑上の整備など、復興のまちとして観光名所づくりに取り組んできた。また、丘陵部では、宮城オレルコースの造成や川内沢ダムの建設に伴う地域間交流・観光振興の拠点とするための環境整備など、海浜部に加え、中心部や丘陵部でも地域資源を生かした名所づくりに向けた取組を進めている。

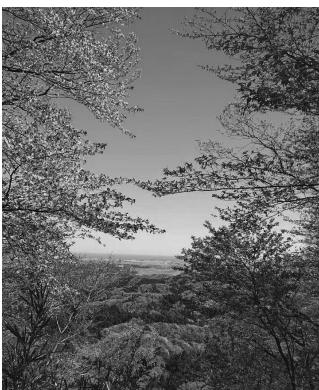
Q 五社山自然散策路を生かし、もみじやイチョウ回廊等の整備をすべき。

A 令和7年度末に完成予定の、雷神山古墳をはじめとする古墳の魅力を紹介した「なとり古墳ブック」を活用し、知名度の向上にも努める。

Q 五社山自然散策路は県の自然環境保全地域に指定され、良好な自然環境が保たれており、多くの方に親しまれている。五社山の山頂付近などの民有地には桜の木が植えられている。こうした事例を踏まえ、もみじやイチョウの整備は、里山の魅力向上に資する取組の一環として、地域の皆さんと相談しながら可能性を探っていききたい。

A 五社山自然散策路は県の自然環境保全地域に指定され、良好な自然環境が保たれており、多くの方に親しまれている。五社山の山頂付近などの民有地には桜の木が植えられている。こうした事例を踏まえ、もみじやイチョウの整備は、里山の魅力向上に資する取組の一環として、地域の皆さんと相談しながら可能性を探っていききたい。

質問した内容
2 自然に親しむ名所の整備



▲五社山展望広場

保育所や学校などに
「論語カルタ」を紹介すべき



吉田 良



Q 名取市立の保育所、児童センター及び学校における論語の活用状況と、保育や学校教育において論語の活用がどのような効果をもたらすと考えられるか伺う。

A 保育所等での活用実績はない。短い言葉を唱えたり音として楽しんだりする活動を通じて、言葉のリズムや響きを感じ取る力が育まれるほか、思いやりや感謝の気持ちを学ぶ情操教育としての効果も期待できると考える。

A 小学6年生の教材で論語の一節に触れている。また、中学3年生の教材「論語」において、先人の生き方や考え方に触れ、自らの考え方を広げたり深めたりする活動を展開している。

効果としては、道徳的価値の醸成、言語感覚とリズム感の習得、脳の活性化と集中力の向上等であると捉えている。

Q 百人一首式論語カルタとその活用事例を、名取市立の保育所、児童センター及び学校に紹介すべき。



- 質問した内容**
- 1 保育及び学校教育における論語の活用
 - 2 名取駅コミュニティプラザの運営
 - 3 令和8年2月6日に告示された住民監査請求の結果

A 古典文化に親しみながら、言葉の美しさを感じ、思いやりや礼節を学ぶ教材として一定の教育的効果が期待できると認識している。他自治体での活用事例等を調査研究の上、共有したい。

A 遊びを通して論語の言葉に親しむ手法は、子供たちの古典への関心を高める上で非常に有効な手段と認識している。関連する本やカルタ等の情報提供に併せ、他自治体での活用事例も共有する。

集会所等にAEDを設置する
自治会等への補助金交付を



千葉 栄幸



Q 直近3か年における、AEDの使用方法を含む救命講習会の実施状況及び受講者数は。

A 令和4年は97回実施し、受講者数は1594人、令和5年は97回実施し、受講者数は2044人、令和6年は124回実施し、受講者数は2918人である。

Q 直近3か年の、市内で開催される市民が主催者となる各種イベント等へのAED無償貸出実績は。

A 令和4年度は0件、令和5年度は2件、令和6年度は5件である。

Q 本市では、AED救命協力施設を認定し、市ホームページで市内の緊急時AED貸出可能事業所一覧を公開している。これに加え、一覧マップの作成や、なりマップの改善などを行うほか、市ホームページやナトぼた等で周知すべき。

A なとりマップ内で緊急時AED貸出事業所の位置が確認できるため、市ホームページ内にバナーを作成し

リンクさせるなど、検索しやすいよう改善を図る。

A なとりマップとの連携等について担当課と調整し、緊急時においても検索性やすいよう改善を図る。

Q 千葉県我孫子市など他自治体では、集会所等にAEDを設置する際、自治会等に補助金を交付している。本市でも導入すべき。

A 他自治体の状況を参考に、調査研究を進める。

A 関係機関と協議しながら、調査研究を進める。

- 質問した内容**
- 1 (仮称)市民活動支援センター分館整備事業
 - 2 AEDの普及推進



大ホールに安心して鑑賞できる
親子室を設けるべき



寺嶋 雅子



ひとり親家庭の支援に
取り組むべき



菅原 和子



Q 文化政策を単独施策とせず、まちづくり全体へ波及させるため、教育や福祉、観光、産業等と横断的に連携する視点が必要である。本市の文化振興によるまちづくりについての考えは。

A まちの活性化を推進するため、地域の関係機関等が連携・協働し、文化芸術が生み出す様々な価値を活用した魅力あるまちづくりに取り組み。

A 市民が数多くの良質な文化芸術に触れることで、一人一人が持つ個性や感性を生かし、磨きながら、多様な文化活動に取り組める環境づくりを行い、文化芸術を生かしたまちづくりを推進する。

Q 乳幼児や発達特性のある子供を持つ家庭が安心して鑑賞できるよう、大ホール後方スペースを活用した遮音性のある親子室を常設すべき。

A 避難導線や設備の配置等から常設は困難だが、まずは課題を整理し、可能な範囲で配慮ある運営に努める。



質問した内容
1 本市の文化振興と名取市文化会館の利活用

Q 名取市文化芸術振興ビジョン第2次の理念を具現化するため、鑑賞中心ではなく、市民参加型や創作活動の企画を強化し、文化会館を核とした「作る・発表する・出会う」の循環を生む、市民参加型の文化振興をさらに推進すべき。

A 今後さらに市民参加型の企画の充実を図り、「作る・発表する・出会う」の循環を生む市民参加型の文化振興を推進する。

Q 本市では、ひとり親家庭就労支援事業を実施しているが、その利用状況と就労実績、課題について伺う。

A 直近3年間の利用状況は、高等職業訓練給付金支給事業が8名、自立支援教育訓練給付金支給事業が1名、うち4名が希望の職に就くことができた。資格を得るために一定期間の学習を要することから、子育てや家事、仕事との両立が課題と捉えている。

Q 仙台市などでは「ひとり親サポートブック」を作成し、ひとり親家庭の支援を実施している。本市でも作成に取り組むべき。

A 市独自の作成は考えていない。今後も、市で作成した「名取市子ども・子育て応援ガイド」等と県発行の「ひとり親家庭支援ほつとブック」を活用し、ひとり親家庭を支援する。

Q 令和8年4月1日から民法等が改正され、父母の離婚後の子供の養育や親権、

親子交流などのルールが新しくなる。どのように周知を図るのか。

A 現在、市民課が市ホームページに掲載しているが、こども支援課としてもリンクを貼るなど、内容を深めて周知したい。

Q 養育費の未払い防止や確実な履行を図るためには、公正証書等の作成が有効とされており、その支援として作成費用を補助する自治体が増えている。本市でも補助制度を導入すべき。

A 県内他市の取組状況を注視しつつ検討する。

質問した内容
1 安心して搾乳できる環境づくり
2 ひとり親家庭への支援



妊産婦医療費助成事業を実施すべき

Q 入院・外来を問わず、妊産婦の医療費窓口負担の助成を行っている自治体は、令和6年9月1日現在、全国で246市町村である。

A 岩手県では昭和48年10月から助成事業を実施しており、花巻市では、岩手県が行う医療費助成事業を導入し、助成額については、県の基準に市が独自で上乗せして給付するなど拡充に取り組んでいる。本市でも妊産婦が安心して医療機関を受診できるよう、医療費助成事業を実施すべき。

A 妊産婦等が安心して妊娠・出産を迎えられる環境の整備は、重要であると認識している。国では出産に係る費用の無償化を検討しており、妊娠・出産に関する支援強化の議論が進められている。その動向を注視し、支援が必要な方への効果的な施策の在り方について調査研究する。



菊地 忍



Q 岩手県のほか、茨城県、栃木県が県単位で実施している。宮城県に実施を働きかける考えは。

A 都道府県単位で実施することが望ましいと考える。市長会等を通じ、機会を捉えて発言したい。

Q 産後ケア事業を利用する際の交通費を助成している自治体がある。本市でも実施すべき。

A 産後ケア事業の利用促進につながる支援の在り方については、国の動向を注視し、市民のニーズなどを把握し、調査研究する。

1 質問した内容 妊産婦等への支援策



第一中学校通学に関する課題解決に取り組むべき

Q 愛島台地区からのバス通学における課題は、一斉下校時になとりん号2台に加えて、教育委員会が所管するバス1台を運行することで一定の解決につながったが、今の課題は。

A なとりん号の一般乗客数によっては、一斉下校時に生徒が乗り切れない可能性があることが課題である。配車調整等に係る教員への負担も課題である。

Q 下校時に乗り切れないことで、帰宅が遅れることは課題と捉えていないのか。

A これまでも様々な課題に対応してきた。より改善できる部分があれば考えた。

A 長年の課題で、様々な工夫を教育委員会としても行ってきた。

Q 本郷・堀内地区からの通学方法及び課題は。

A 自転車通学している。交通ルール等を遵守させることが課題である。

Q 愛島台地区からの通学にスクールバスを導入すべき。



波 笹森



き。また、本郷・堀内地区から通学する生徒に対し、タクシー券の補助など通学支援をすべき。

A 愛島台地区からの通学には、学校の状況に合わせた運行により、なとりん号の継続利用を考えている。

A 本郷・堀内地区からの通学には、自転車購入費等の補助を行っていることから、新たな支援は考えていない。

Q 今いる生徒たちのことを考えた今後の方針は。

A 様々な改善策を市と教育委員会で連携して講じてきたが、今後の状況に応じて考える。

質問した内容 1 防災意識の向上 2 児童生徒の健康診断 3 第一中学校への通学



名取が丘地区内の市道及び側溝改修工事を急ぐべき

Q 地区内の交通量が多い市道は劣化が激しく、歩道に至っては歩車道境界ブロックの欠け落ちやコンクリートの劣化が目立つ。市道改修工事は喫緊の課題である。今後、改修工事が予定される市道路線名は。

A 名取が丘中央大通り線は、令和10年度の完成を目指す。令和8年度は相野釜愛鳥線と飯野坂中央大通り線の舗装補修工事に着手する。

Q 地区内の側溝改修工事は、全体の何割が終了したのか。

A 名取が丘一丁目から六丁目地内では、総延長約39kmに対し約21kmの整備が完了し、進捗率は約54%である。

Q 地区内全ての路線の側溝改修工事を行うのか。

A 各区長から話を伺い、優先順位を決定している。基本的には100割を目指す。優先順位も含めて地域と相談しながら進めたい。

Q 地区全体の側溝改修工事は、完了までに何年かかる見通しなのか。



- 質問した内容
- 1 名取が丘地区の市道改修工事
 - 2 市内小中義務教育学校におけるタブレット端末を用いた学習
 - 3 なとりん号のバス改善

A 平成9年度から工事に着手し、令和7年度末で約半分を終えた。完了までには数十年かかる見込みである。

Q 宅地造成から約60年が経過し、住民の高齢化や住宅の建て替えが著しい。道路環境の安全確保のためにも、路面や側溝改良工事をより一層早く進めるべき。

A 国の交付金や緊急自然災害防止対策事業債などの様々な財源を活用し、可能な限り早期に整備が図られるよう鋭意取り組む。



大泉 徳子



屋内外遊戯施設を早急に整備すべき

Q 民設公営で運営している屋内遊戯施設なとりぱーくの市内外利用者の内訳は。

A 令和8年1月31日時点で、20万2530人が利用している。市内の利用者が4万1533人、市外の利用者が16万997人である。

Q 利用に当たり、駐車場が満車で止められない、予約が取りづらいなどといった市民の皆さんの声をどう捉えているのか。

A 比較的に利用しやすい南駐車場の利用促進キャンペーンをイオンモール名取で行い、また、利用枠を45名から50名に拡大し、一定の改善が図られている。月に一度、イオンモール名取・名取市・運営受託者で協議の場を設け、利用者の意見や要望をできる限り運営に反映するよう努めている。今後も利用者の声に耳を傾け、運営改善への検討を進める。

Q 県立精神医療センターの土地に、屋内遊戯施設を含めた子育て支援拠点施設の建設を県に働きかけるべき。

A 県で現地での建て替えを含め検討中である。用地も選定中であり、働きかけを行うのは適当ではないと考える。今後も建て替えの状況や土地の活用の方針等、動向を注視する。

Q 十三塚公園を活用し、屋外遊戯施設の整備を検討すべき。

A 新たな屋外遊戯施設の整備は考えていないが、施設の更新時期に合わせて利用実態や将来のニーズの変化等を踏まえ、施設整備の在り方を検討する。

- 質問した内容
- 1 屋内外遊戯施設の整備



二階堂 充



2月定例会 議案審議

名取市の

こんなことが決まりました

2月定例会 会期 2月19日～3月17日

2月定例会の議案は

市長提出議案

条例	14件
新年度予算	9件
補正予算	13件
同意	1件
議決案	7件
計	44件

提出された議案の概要は、市議会ホームページの「議案概要」を御覧ください。



〔議案第25号〕 名取市火災予防条例の一部を改正する条例

Pick up 1

サウナ施設に関する基準が追加されます

近年のサウナブームを背景に、屋外等での簡易サウナが増加したことから、火災予防対策のため必要な改正を行うものです。

こんな質疑がありました

Q 簡易サウナ設備の定義は、テント型またはバレル（木樽）型で定格出力6キロワット以下、かつ、薪または電気を熱源とするものであるが、プロパンガスや都市ガスを熱源に利用するものの取扱いは。

A 総務省消防庁の「可搬式サウナ等の特性に応じた防火安全対策に関する検討会」で、実験や安全性の検証を行っている。プロパンガスや都市ガスを熱源とするサウナ設備は、簡易サウナ設備ではなく一般サウナ設備として取り扱う。

Q 薪や電気を熱源とする場合、届出や防火対策等が必要となるが、プロパンガスや都市ガスを熱源とする場合、そのような手続は除外されるのか。

A 一般サウナ設備としての手続及び安全対策が必要である。

Q 条例改正についての周知は。

A 市ホームページ等で周知する。

Pick up 2

児童センターの設備の不具合や老朽化に伴う修繕を行います

こんな質疑がありました

○児童センター管理運営事業について

修繕の内容は。

A 3か所の児童センターにおいて、施設設備の不具合や老朽化に伴う修繕を行う。

名取が丘児童センター集会室のFF式温風ヒーターと、増田西児童センターの多目的トイレの更新は、緊急性が高いため既に対応済である。
また、令和8年3月までに愛島児童センター遊戯室の窓ガラスの修繕を行う。

○増田野田線改良工事について

Q 増田野田線改良工事の進捗状況は。

A 歩道の路盤整備や側溝整備は、令和8年3月末に竣工予定である。

残工事の歩車道境界ブロックの一部と舗装は、令和8年度上半期に発注し、秋頃に完了予定である。

Q 供用開始は、工事が完了する秋頃となるのか。

A 歩道部分は砂利の状態であるが、次の工事を発注するまでの間は開放する。

令和8年度 予算審査

税金の使い道を チェックしました

一般会計・特別会計・企業会計総額

633億1,690万円

市長から提出された令和8年度の予算について、財務常任委員会において審査を行いました。

財務常任委員会では、一般会計歳入・一般会計歳出・特別会計・企業会計の全てを全体会で審査しました。

財務常任委員会の内容は、録画でも配信しています。市ホームページの「議会中継」から御覧ください。



一般会計
歳入

市税は令和8年度も過去最高額を見込んでいます

歳入375億5,600万円のうち、市税では前年度比約6億円の増で過去最高となる約136億円を、地方交付税では、前年度比約1億5千万円の増で約38億7千万円を見込んだと説明がありました。

個人市民税では、納税義務者数や一人当たりの所得金額の増加により約2億4千万円の増、固定資産税及び都市計画税では、負担調整措置による増収分等により、合わせて約3億4千万円の増を見込んでいます。

そのほかに、こども誰でも通園制度の利用料や海外観光物産交流事業及び宮城オルレコース造成事業に係る費用の歳入の見込みなど、各事業の取組内容や算定根拠などについて審査が行われました。



一般会計
歳出 ②

なとり冬まつりを 企画します

農林水産業費では、ろ過海水の水中ポンプは3か月に1回程度のオーバーホールが必要で、着脱回数や経費を減らすため、既存の1台に追加してもう1台購入すると説明がありました。

商工費では、新たに企画する冬まつりは、民間事業者が主体となり、冬ならではのアイデアをいただきながら進めると説明がありました。また、震災復興伝承館では、外国人来訪者の増加に伴う展示物の多言語化について説明がありました。

土木費では、木造住宅耐震改修工事助成事業補助金の対象の拡大について、市ホームページや広報紙で市民への周知に努めると説明がありました。



一般会計
歳出 ①

ひきこもり状態の方の 居場所支援を行います

総務費では、デジタル地域通貨ポイント付与金について、物価高騰対策として高校3年生までの子供一人当たり3,000円のなとりコインを、5月以降に配付すると説明がありました。

民生費では、ひきこもり支援事業について、おおむね中学生から30代までの当事者とその家族を対象に、電話や来所による相談の支援、交流や居場所支援を行う考えが示されました。

衛生費では、五社山里山環境保全推進事業について、NPO法人等の協力を得て現地調査を実施し、里山の環境保全について地域住民や学生などと検討するワークショップを開催すると説明がありました。



特別会計
企業会計

水道事業所の窓口業務を 10月から委託します

国民健康保険特別会計では、税率改正や新たに追加される子ども・子育て支援金の内容、特定健康診査の受診率向上への取組について説明がありました。

介護保険特別会計では、生活支援体制整備事業の協議体設置方法、訪問介護事業者数の実態や介護報酬の引上げを求める取組、高齢者ふれあいサロンの増設への取組について説明がありました。

水道事業会計では、令和12年度の設置完了を目指すスマート水道メーターの設置率の見込みや、10月から水道事業所の窓口業務を委託することについて説明がありました。



一般会計
歳出 ③

図書館がイオンモール名取 内の書店と連携します

消防費では、救急を高度化させる資機材の導入を進めるほか、入浴中に心肺停止となる入浴関連死を予防するため、救急に関する調査研究事業を独自に進めることや、PR動画などで消防団の入団促進を図ると説明がありました。

教育費では、小中学校で照明器具のLED化を進めることや、空調設備を新たに12台設置するほか、ゆりが丘小学校のトイレ洋式化に取り組むと説明がありました。また図書館ではイオンモール名取内の書店と連携し、夏休みには「図書館を使った調べる学習コンクール」など、年4回のイベントを開催すると説明がありました。



令和8年度の取組を聞きました

総括質疑2

会派名 日本共産党議員団 笹森 波 議員

ひきこもり支援の取組内容は

Q ひきこもり支援事業の内容と、対象者及び期待する効果は。

A 電話や来所による相談への支援や、当事者が安心して利用でき、同じ悩みを抱える他者との交流の場を提供する居場所支援等を実施する。対象者は、市民でおおむね中学生から30代までのひきこもり状態にある方及びその家族を想定している。家族の孤立や共倒れを防ぐとともに、当事者が自らの意思で生活リズムを整え、社会参加へ向かう自立を促進する効果があると捉えている。

総括質疑1

会派名 公明名取 阿部 正義 議員

なとり冬まつりの具体的内容は

Q なとり冬まつりの開催に至る経緯と開催場所等の具体的内容は。

A 春・夏・秋の三大祭りに加えて、四季を通じた誘客の推進について、令和6年度より検討してきた。開催時期や場所等は、実行委員会を組織し、その中で検討するが、キッチンカーやキッズエリアなど幅広い年齢層が楽しめる内容としたい。

Q シティプロモーション推進の具体的な取組内容は。

A 移住・定住のメインターゲットである子育て世帯へ推進したい。お出かけスポット等のデジタルガイドブックを作成し、各種SNSや市ホームページ等で公開しながらプロモーションに取り組む。

総括質疑4

会派名 名取維新 今野 慎介 議員

なとり冬まつりの費用対効果の見込みは

Q なとり冬まつりの費用対効果は。

A 冬場の観光誘客促進を図るため、新たに取り組む。ほかのなとり三大祭り同様に、地場産品の販売や出店事業による経済効果が一定程度見込めると捉えている。

Q 閑上地区におけるゾーン30プラス指定に伴う整備の具体的内容は。

A 市道閑上かわまち通り線では、通過車両の速度抑制を図るため、あんどん松公園北側に、スムーズ横断歩道1箇所の整備と名取川堤防下の歩道新設のため測量設計を進める。また、閑上公民館北側交差点では、歩行者の安全確保のため車両防護柵を整備する。実施に当たっては、住民説明会を行った上で着手する。

総括質疑3

会派名 名和会 大友 康信 議員

クマ誘引木伐採事業の具体的内容は

Q クマ誘引木伐採事業の、伐採の考え方と伐採本数、時期などの具体的内容は。

A クマ出没防止と人身被害を未然に防止することを目的として、出没が確認された地域で、柿や栗、クルミ等のクマ誘引木の所有者からの申請により伐採する。伐採本数は約150本を見込んでおり、4月から申請受付を開始し、随時伐採する。

Q 市民体育館エアコン設置事業の内容は。

A 熱中症対策のため、令和7年度と同様に市民体育館アリーナ2階観客席へ、エアコン8台を借り上げて設置する。あわせて、エアコン常設設置に向けた工事設計業務を行う。

総括質疑6

会派名 市民クラブ 千葉 栄幸 議員

川内沢ダム活用による地域活性化策への取組内容は

Q 市民活動促進費における駐車場用地借上料の具体的内容は。

A 将来的な用途を(仮称)市民活動支援センター分館駐車場として、大手町4丁目地内の宅地325.31㎡を借り上げる。16台分の駐車スペースで、月額22万円、月坪賃料は約2,230円となる。

Q 川内沢ダム活用による地域活性化策の勉強会及び官民連携による地域活性化推進体制づくりの取組は。

A 勉強会では、引き続き、ダム堤体や湖面を含む周辺施設の利活用の在り方について検討を進める。また、その中で参加の可能性がある民間事業者や関係団体等を模索し、官民連携による体制づくりの検討を深める。

総括質疑5

会派名 青雲倶楽部 寺嶋 雅子 議員

5歳児健康診査後のフォローアップ体制は

Q 5歳児健康診査受診後のフォローアップ体制は。

A 健診結果に応じ、保健師や心理士等による個別相談、医療機関の受診勧奨、就学相談・発達相談・療育相談の紹介など継続的支援を行う。また、教育委員会や保育施設等との連携を強化し、就学に向けた切れ目のない支援体制の充実に努める。

Q 事業継続力強化計画策定支援事業の具体的内容と周知方法は。

A 市内中小企業等の経営基盤強化のため、新たに事業継続力強化計画を策定し、国の認定を受けた事業者に、10万円の奨励金を交付する。名取市商工会が実施する事業継続力強化計画策定セミナーと連携した周知を行う。

賛成

大泉 徳子 議員

(一般会計)

新たに実施される5歳児健診では、就学前の幼児を対象に多角的な項目により健診を行う。保護者の不安解消や相談先へのつなぎなど、切れ目のない子育て支援策であると評価する。個々に寄り添い、きめ細やかな支援体制の構築に期待する。

クマ対策では、高齢化等で減少傾向にある鳥獣被害対策実施隊員の傷害保険や最新ドローンの活用、誘引木伐採等への予算が措置されているが、人的被害の防止のため、より効果的な対策を望む。

体育施設整備方針策定事業では、市民アンケートや団体へのヒアリングで市民の声を反映し、健康増進や経済効果を視野に入れた策に期待する。

令和8年度予算審査 討論
このような理由で、賛成・反対しました

総括質疑7

会派名 名取医療福祉会 佐藤 さやか 議員

防災マニュアル整備事業の内容は

Q 防災マニュアル整備事業において、増田・増田西・館腰の3地区が対象となる。内陸部の住宅密集地におけるリスク回避等の重点項目は。

A 幅の狭い道路における円滑な避難路の確保や、近隣住民同士による安否確認等の共助体制の構築を課題としている。対象となる3地区においては、大雨被害による道路の冠水や、建物倒壊に起因する避難路の閉塞といった地域特性、並びに自主防災組織などによる取組の重要性を反映させたい。

賛成

笹森 波 議員
(一般会計)

スマートストアが3月29日をもって閉店し、今後はポケットギャラリーに戻ることで庁内に売店がなくなる。来庁者及び職員に利用が定着していただけないに残念に思う。庁舎内の利便性向上のためにも、新たな売店等の検討を求める。

教育総務費の熱中症対策における施設整備について、簡易式ミストシャワー設置の検討に向け、4月以降に各学校へ希望調査を実施する取組を評価する。

学校給食費において、4月から小学校の給食費無償化が開始されることにより、小中学校ともに給食費が無償化されることを評価する。

賛成

吉田 良 議員
(一般会計)

宮城県市長会特別負担金について、令和5年度から毎年行われている台湾訪問は、成果の説明が不十分のまま継続されている。市長会という縛りがある中で市の魅力を宣伝できるのか、人脈を広げられるのか、課題が多い。本市独自にトップセールスできる手法を検討し、成果の可視化に努めるよう求める。

空き家対策の業務が、なとりの魅力創生課から都市計画課へ移管されることで、管理不全空家の認定等、迷惑空き家の是正に向けた取組の強化を期待する。

市道大手町川上線の整備推進について、仙台市域とのアクセスの利便性を長期的な最重要課題として、入念に検討するよう求める。

反対

笹森 波 議員
(後期高齢者医療特別会計)

後期高齢者医療保険料は2年に一度改定され、令和8年度は前年度比で約1万円の増となる。加えて、子ども・子育て支援金が上乗せされると、後期高齢者にさらなる負担が強いられることになる。

後期高齢者医療保険の対象者のほとんどが年金生活者で、経済的にゆとりのない厳しい生活状況である。医療機関を受診することが多くなる後期高齢者が医療受診を控えざるを得ない状況で、さらなる負担が強いられるのでは本末転倒ではないか。

年齢にかかわらず必要な医療を安心して受けられる体制づくりが必要であると考えます。

反対

笹森 波 議員
(国民健康保険特別会計)

子ども・子育て支援金制度は、給付面と財政面の改革を一体的に行うものである。児童手当の拡充や妊婦の支援給付等に充てられるが、必要な財源は医療保険制度に上乗せ徴収することで賄おうとしている。その狙いは、子育て支援に関する国の負担を可能な限り削減し、必要な財源は社会保障費の削減と国民負担により確保するという新たな仕組みづくりにある。

この仕組みができれば、子育て支援のために社会保障費は削減され、支援金の増額が被保険者に強いられることになる。

このようなことは断じて認められず、財源の在り方の根本的な見直しを強く政府に求めることを望む。

審議結果

▶ 賛否が分かれたもの

※ ○は賛成、×は反対、討は討論を行った場合

会議名	提出者	議案番号	件名	審議結果	議員名(議席番号順)																			
					阿部正義	今野慎介	佐藤さやか	佐藤繁樹	鈴木英信	寺嶋雅子	二階堂充	笹森波	千葉栄幸	板橋美保	大泉徳子	菅原和子	吉田良	大友康信	長南良彦	菊地忍	小野寺美穂	郷内良治	山田龍太郎	熊谷克彦
第3回定例会	市長	議案第6号	令和8年度名取市国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議案第10号	令和8年度名取市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議案第44号	名取市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議案第48号	令和8年度名取市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※地方自治法第116条の規定により、議長は表決に加わっておりません。
 ※議案第5号から議案第48号までの議案の表決に当たり、小野寺美穂議員は欠席しております。

今期定例会において全会一致で可決した議案を含む、審議結果の一覧は、市議会ホームページの「審議結果」を御覧ください。



Topics

No.1

人事案件に同意しました

今期定例会には、4か件の人事案件が提出されました。

◎名取市固定資産評価審査委員会委員

(2月19日上程・同日原案同意)

橘内 貴之氏 (美田園)

◎人権擁護委員候補者

(2月19日上程・同日原案可決)

鈴木 久直氏 (愛島)
 本郷 清子氏 (愛島)
 小澤 清子氏 (愛島)

No.2

第1回臨時会(1月16日)

◎議案第1号及び議案第2号 訴えの提起について

災害援護資金元利償還金及びこれに対する違約金の支払いを求める訴えを提起しました。

No.3

第2回臨時会(2月2日)

◎議案第4号 令和7年度一般会計補正予算(第11号)

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金により実施する事業に要する費用などを措置しました。

No.4

議員協議会（1月16日）

新一般廃棄物最終処分場候補予定地の選定経過について、また、令和8年度国民健康保険税子ども・子育て支援金分の課税について説明がありました。

No.5

議員協議会（2月9日）

学校給食費の無償化について説明がありました。

No.6

議員協議会（2月16日）

仙台赤十字病院・宮城県立がんセンター統合新病院基本計画について説明がありました。

No.7

議員協議会（3月4日）

カナダ国スーク市との姉妹都市の盟約締結について説明がありました。

No.8

議員報酬の適正化を図ります

本市議会では、28年以上据置きとなっていた議員報酬の適正化について調査・検討するため、議員報酬調査検討特別委員会を設置し、本市の現状や他市議会との比較、環境・経済状況の変化等について調査し、令和7年9月に適正な報酬額について調査報告を行いました。

令和8年2月定例会では、議員報酬調査検討特別委員会の調査結果を踏まえ、副議長及び議員の報酬額を改定する「名取市特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例」が市長より提出され、全会一致で可決されました。

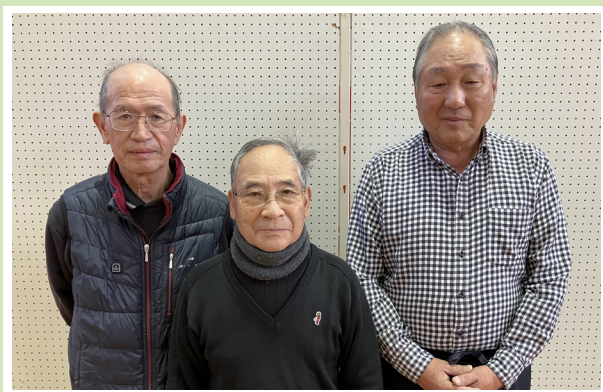
条例改正により副議長及び議員報酬は令和8年4月からそれぞれ1万1千円増額となります。

適正な報酬額とすることで、多様な人材の議会への参画を促し、議会の活性化と開かれた議会づくりに努め、市民が求める議会の実現を目指します。

N WATCH

エヌ・ウォッチ

今号の表紙を飾ってくれた、
名取が丘地区老人クラブ連合会の皆さんから
お話を伺いました。



会長(兼 若くなる会 会長) **和栗 幸一**さん(右)
若草会 会長 **相原 作郎**さん(中央)
雷神山シニアクラブ 会長 **小山田 敏夫**さん(左)
(令和8年3月末現在)

活動内容を教えてください

3つの老人会があり、78名で活動しています。地域の各種行事に積極的に参加・協力しています。また、保育所や小学校等で野菜作りや昔遊びといった社会奉仕活動、カラオケやグラウンドゴルフ、マーじゃん、モルック、脳トレ等を行い、老人会内での交流を図っています。

どのような方針で活動されていますか

少しでも地域の活動に協力して役に立ちたいと思っています。また、独居老人といった方などにも寄り添っていきたいです。ぜひ老人会に入会し、一緒に活動してもらえたら嬉しいです。

令和8年6月定例会は、
6月5日(金)
開会予定です。

議会を読もう

なとり市議会だよりは、2月、5月、8月、11月に発行しています。バックナンバーは、ホームページでも御覧いただけます。



議会を傍聴しよう

会議はどなたでも傍聴することができます。会議の日程は、市議会ホームページで御確認いただくか、議会事務局(022-384-2109)へお問い合わせください。



会議録を読もう

本会議及び財務常任委員会等の会議録をインターネットで公開しています。詳細な議論の内容の確認に、ぜひ御活用ください。



議会を動画で見よう

本会議や議員協議会等の模様をインターネットで中継(生中継・録画中継)しています。ぜひ御活用ください。

※スマートフォンやタブレット端末での視聴にも対応しています。



議会に参加しよう

議会に対して請願・陳情を提出することができます。これらは、特定の事項について議会などに実情を訴え、適切な措置を要望することです。



編集後記

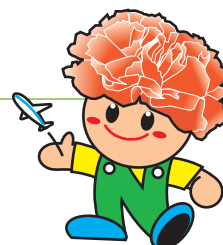
委員長
笹森 波

改選から2年が経ち、任期の折り返しを迎えました。市民の皆様の声を聞きながら各種事業の進捗や効果等を確認し、また、市当局に対して意見や提言を行ってきました。

2月定例会では、令和8年度の予算について活発な質疑を行い審議しました。4月からは、小学1年生から中学3年生まで学校給食費の完全無償化が開始され

ます。また、なとり冬まつりや5歳児健診など、新しい事業も開始されます。

市政をより身近に感じていただくため「議会だより」を通して、今後も市民の皆様に分かりやすく議会の様子を伝えられるように努めてまいります。



名取市議会の情報はこちらから

名取市議会

検索

